

# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社ハセガワ倉庫	階数	地上2F
建設地	静岡県焼津市八幡3丁目1-2、他11	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	20人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 予定	評価の実施日	2022年4月15日
敷地面積	10,012 m <sup>2</sup>	作成者	中島剛志
建築面積	2,406 m <sup>2</sup>	確認日	202●年●月●日
延床面積	4,242 m <sup>2</sup>	確認者	〇〇〇



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 74%  
③上記+②以外の 74%  
④上記+ 74%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.0
温熱環境	2.7
光・視環境	2.0
空気質環境	4.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

機能性	2.4
耐用性	3.0
対応性	3.4

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

**LR のスコア = 3.6**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.4

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.0
汚染物質	3.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	4.0
地域環境	1.9
周辺環境	3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地内に緑地を大きく設け環境に配慮をした 外壁面の色彩に統一感を持たせて景觀に配慮した	その他 0
Q1 室内環境	ゾーン別に冷房・暖房の選択が可能 全館禁煙とし空気質環境の向上に配慮している	Q3 室外環境(敷地内) 空地率を大きくし、また、中高木を植栽することにより敷地内温熱環境の向上に努めている。緑地を設けることにより良好な景觀を形成している。
LR1 エネルギー	高効率空調機、LED照明を採用するなど設備システムの高効率化に配慮している。	LR3 敷地外環境 地下式調整池を設置し雨水排水負荷の低減を図っている。 燃焼器具を採用せず、大気汚染の防止に配慮している。
Q2 サービス性能	天井高を高くするなど心理性・快適性に配慮している 防汚性の高い内装材の採用を採用し維持管理に配慮している	
LR2 資源・マテリアル	自動水栓や省水型機器を用いるなど水資源を保護している。 ノンフロン断熱材を採用するなど汚染物質含有材料の使用を回避している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される